主題歌のソノシート付き

朝日ソノラマ
EM-125

女王陛下の
プティアンジェ

主題歌
アンジェにおまかせ



TVマンガ「女王陛下のプティアンジェ」主題歌

アンジェにおまかせ

作詞＝千家和也
作曲＝小林亜星
うた＝広美和子

1
アンジェに　おまかせ
アンジェに　おまかせ
アンジェに　おまかせ
ある種の勘よ　心のひらめきよ
女の子にはなんとなく　わかるのよ
小鳩が首を　かしげるように
私の胸のペンダント　光ってる
※あなたのことを　知りたいの
秘密の扉　あけたいの
アンジェに　おまかせ
アンジェに　おまかせ
アンジェに　おまかせ

2
大きな謎よ　不思議な出来事よ
年頃だから敏感に　読めるのよ
小石を水に　落としたように
私の長いブロンドが　揺れ動く
悲しい嘘は　もうやめて
涙のあとに　微笑みを
アンジェに　おまかせ
アンジェに　おまかせ
アンジェに　おまかせ
※（くりかえし）



きょうは、アンジェの
たんじょうび。
おきゃくさまが、たくさん
みえて、すてきなパーティが
はじまっています。
「やあ、アンジェ、おめでとう
きょうは、とてもきれいだね」
「まあ、マイケルったら」
なかよしのマイケルけいじと
ジャクソンけいぶも
おいわいにやってきました。





ところが
たいへん。
アンジェと
マイケルが
にわを
さんぽして
いると、まどの
われるおとがして、
あやしいおとこが
にげていきます。
「あっ、どろぼうだ
ひっとらえてやる！」
「きをつけて、マイケル」
マイケルは、おとこをおって
やしきのそとへ、かけだしていきました

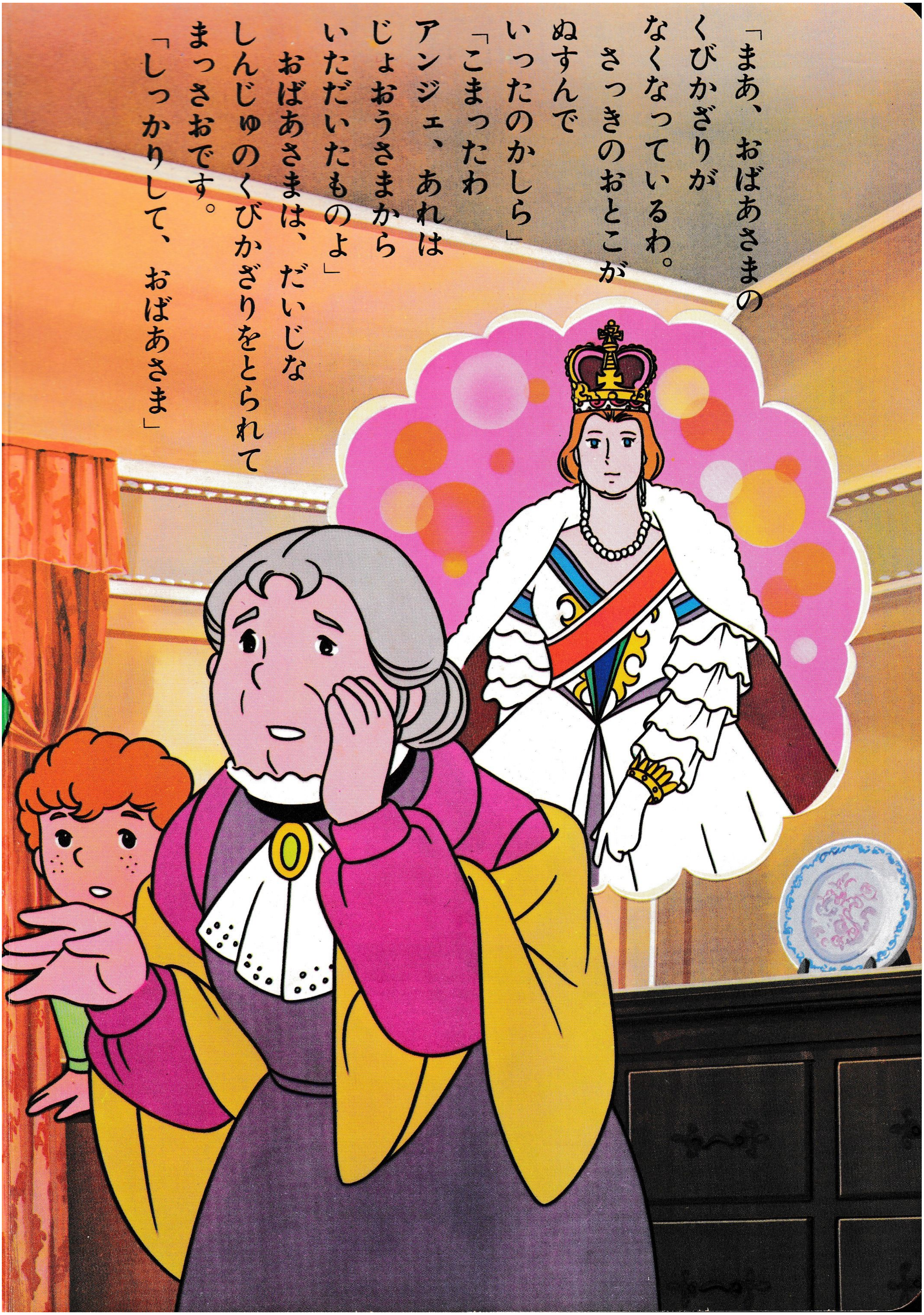


「まあ、おばあさまの
くびかざりが
なくなっているわ。
さっきのおとこが
ぬすんで
いったのかしら」

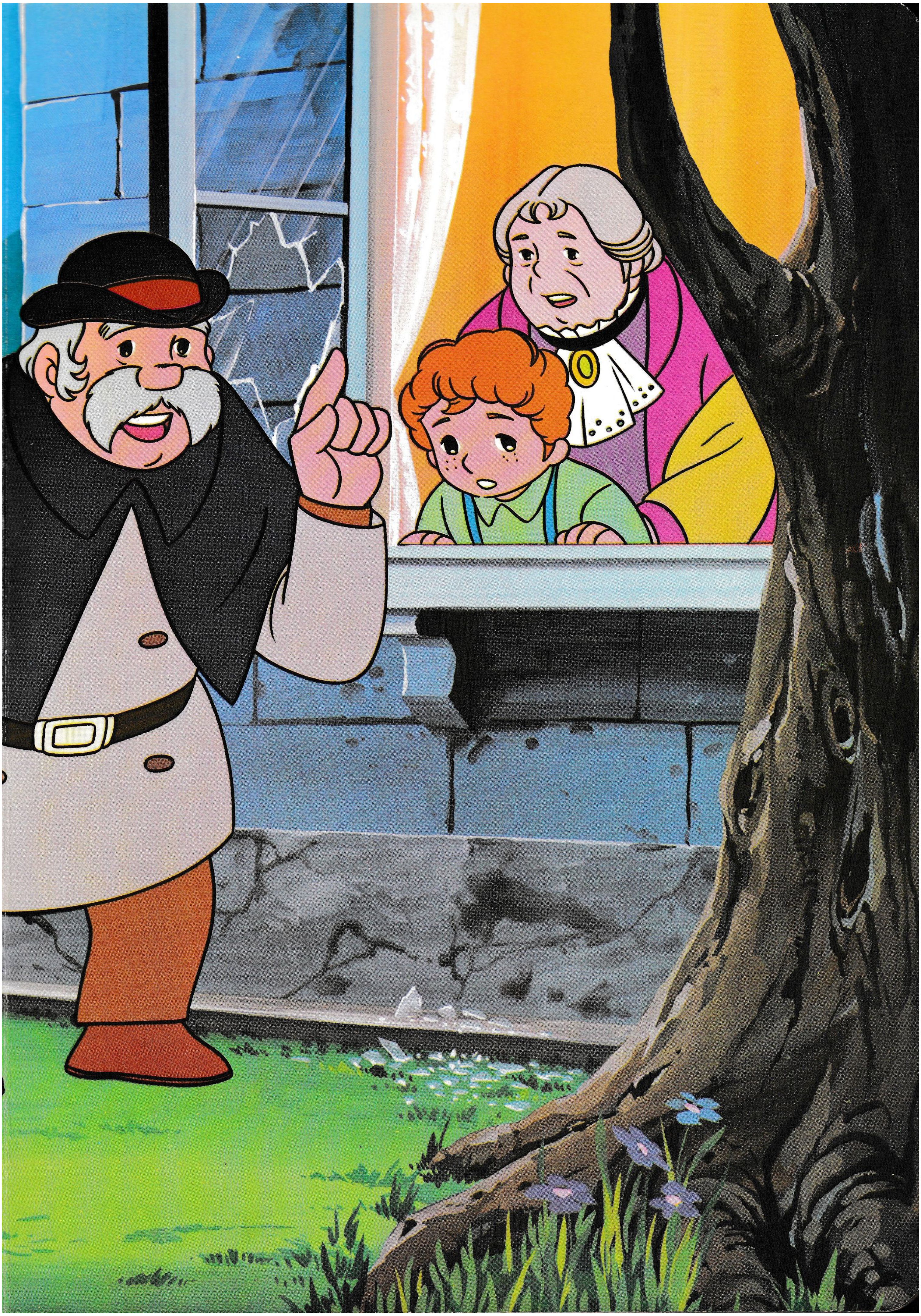
「こまったわ
アンジェ、あれは
じょおうさまから
いただいたものよ」

おばあさまは、だいじな
しんじゅのくびかざりをとられて
まっさおです。

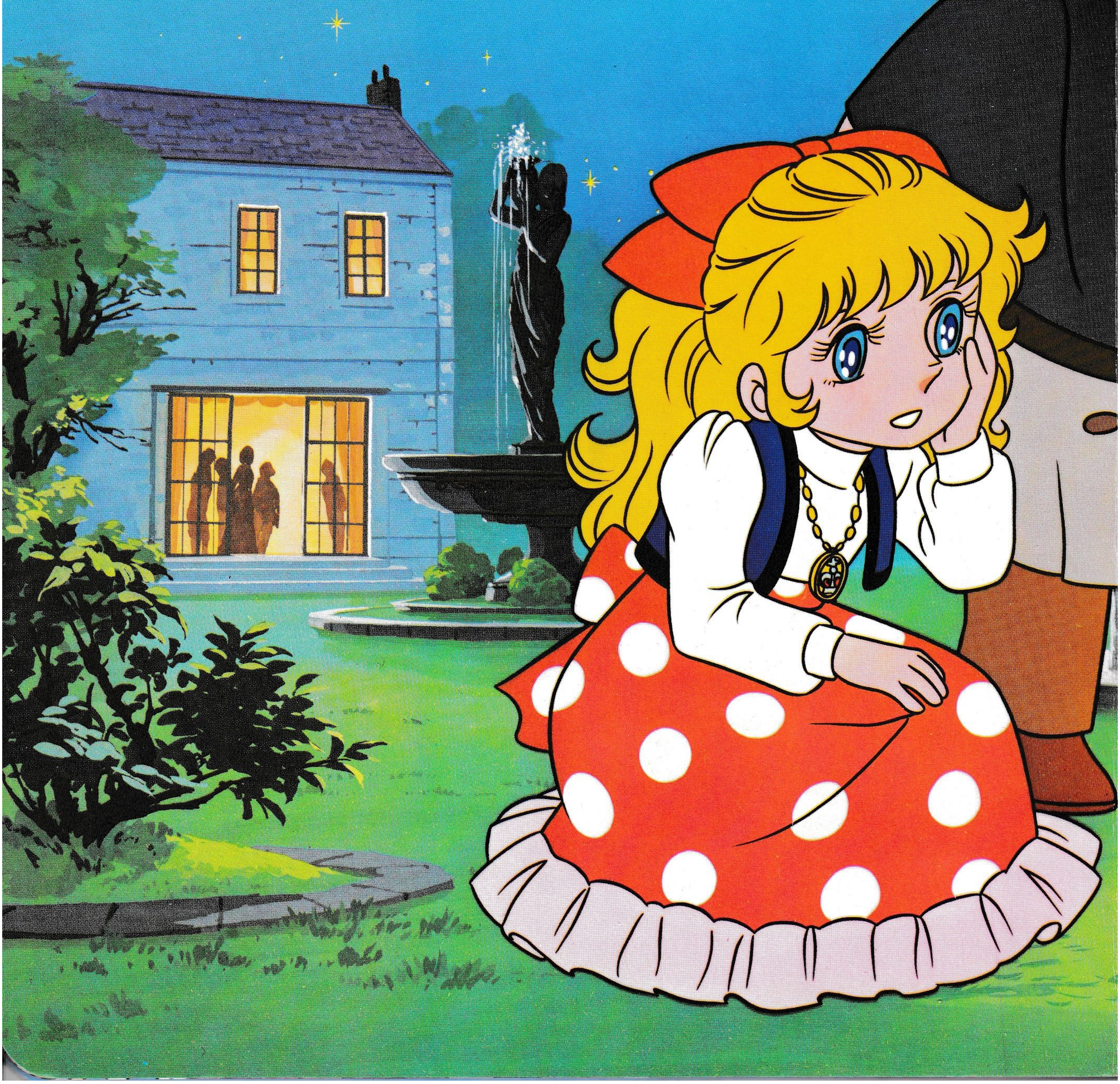
「しっかりして、おばあさま」







「ふむふむ、はんにんは
このまどをやぶって
はいったのですぞ」
「ジャクソンけいぶ
そのおとこなら
いまマイケルがおってるわ」
「なに、そんなら
はんにんたいほは
もうじかんのもんだいですぞ。
ごあんしんください」
「でもへんね、
なぜまどのしたに
はんにんのあしあとが
ないのかしら」



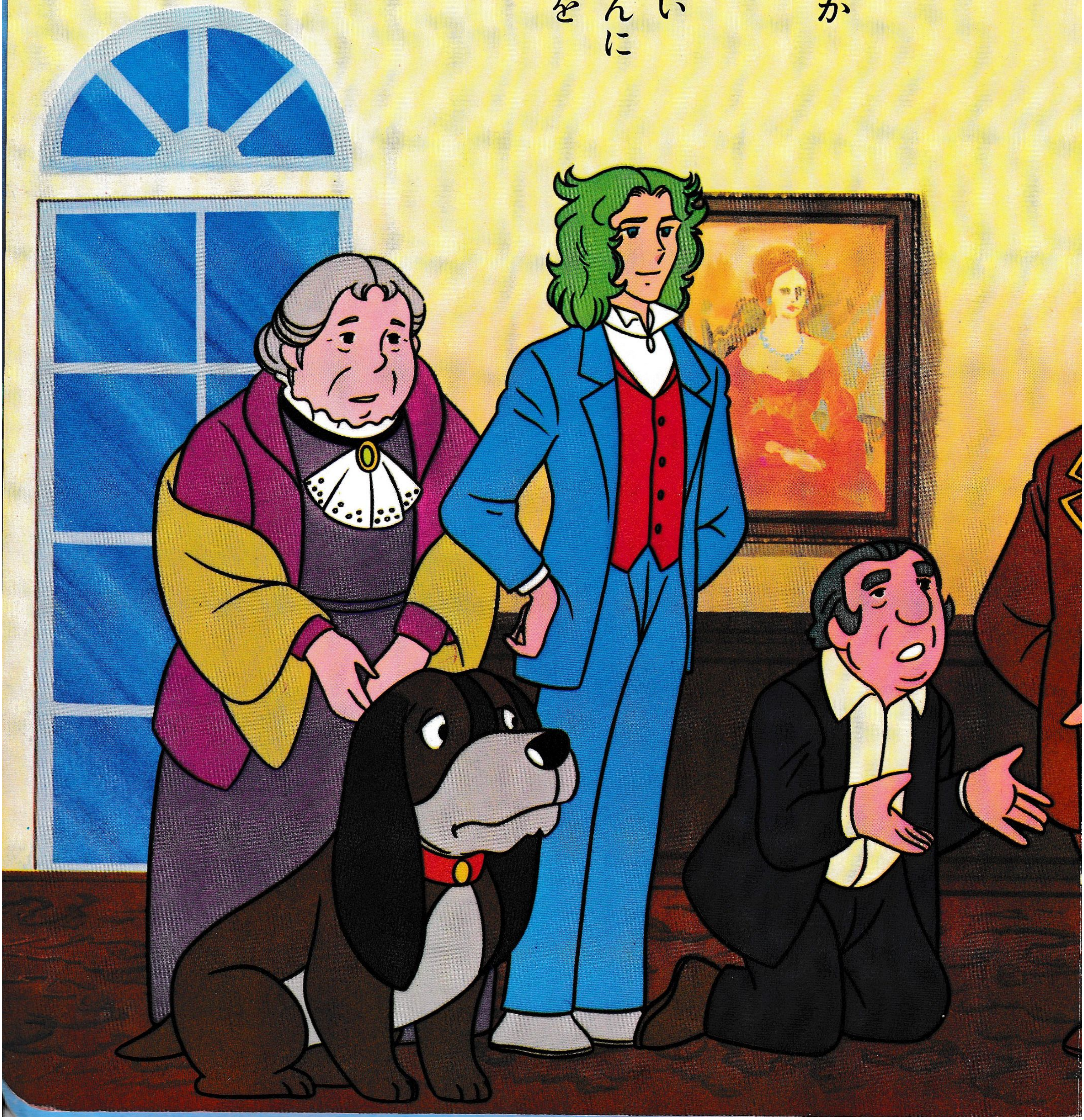


「うっ、きゅうにはらが
いたくなった」
　おきゃくのひとりが、そわそわ
かえりじたくをはじめました。
　そのきゃくは、アンジェも
おばあさまもしらない
ひとなのです。
「あの、ジャクソンけいぶ
ちょっと」
「なに、あのきゃくが
あやしいって。
　はははは、かれは
はんこうじかんには、ちゃんと
ここにいましたぞ、アンジェ」





そこへマイケルが
もどってきました。
「おっ、でかしたぞ
マイケル、
　このおとこがはんにんか
さあ、はやくぬすんだ
くびかざりをわたせ」
「どうぞおゆるしください
わたしは、ただあのじかんに
たのまれて、まどへいしを
なげただけなのです。
　くびかざりを
ぬすんだなどと
とんでもない」
「なに、それは
ほんとうか！」



アンジェのにらんだとおり
はんにんは、やっぱり
さっきのきゃくでした。
「なかまがつかまったので
あわててにげだしたのよ。
グリム、いそいで。
まだそんなにとおくへ
いってないはずよ」
アンジェをのせて
あいばのグリムは、よるのまちを
かぜのようにはしりました。

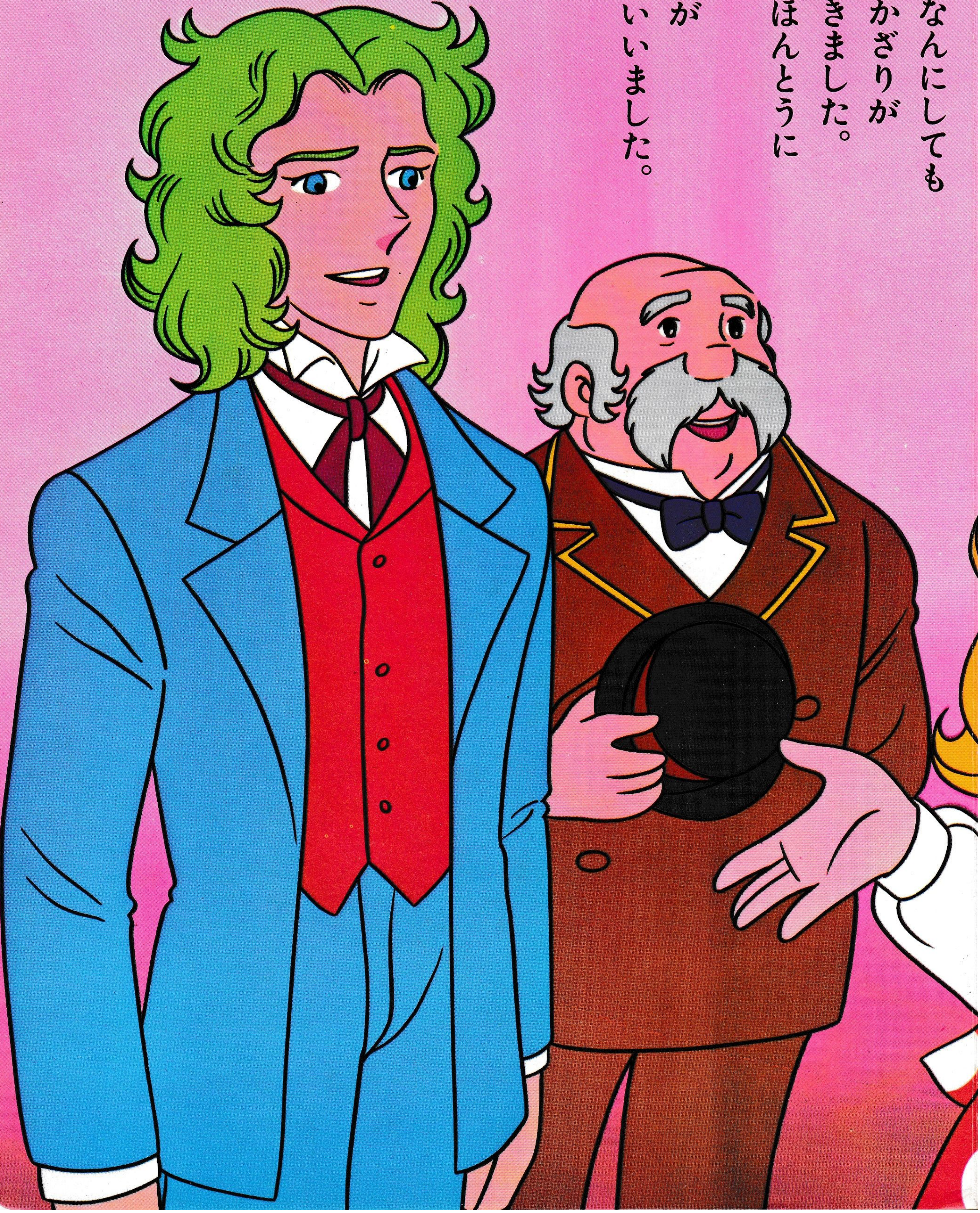




「いやおめでとう
アンジェ、さすがは
ロンドンいちの
めいたんていですな」
「いいえ、くびかざりを
とりもどせたのは
マイケルのおかげよ。
わたしひとりでは
とてもはんにんを
つかまえられなかったわ。
ありがとうマイケル」



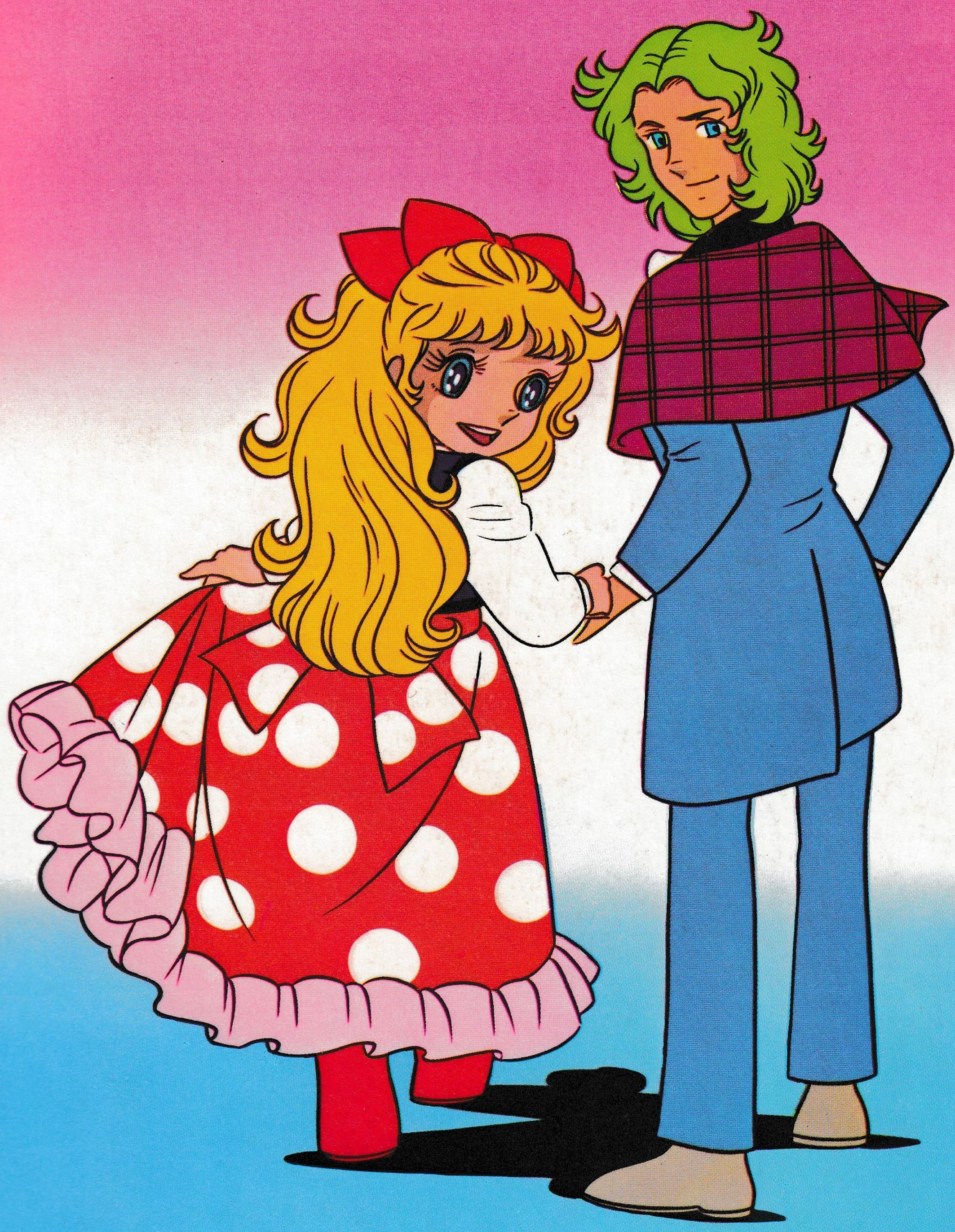
「まあまあ、なんにしても
だいじなくびかざりが
ぶじもどってきました。
みなさん、ほんとうに
ありがとう」
おばあさまが
うれしそうにいいました。



女王陛下のプティアンジェ 主題歌のソノシート付き



朝日ソノラマ



350円

朝日ソノラマ　EM-125　女王陛下のプティ アンジェ
発行所＝㈱朝日ソノラマ　東京都中央区銀座４－２－６
発行人＝村山　実　振替40311　印刷・製本＝本州印刷紙器・大村製本
JASRAC 日本音楽著作権協会承認第527711号